

町政に「福祉の心」を取り戻そう



葉山町議会議員

熱い心で町政をリード 近藤昇一

こん とう しょう いち

【略歴】1949年生まれ、葉山小・中学校、県立追浜高校、中央大学卒、25歳初当選、7期28年／現在、総務建設常任委員、委員長歴任／長柄町内会相談役、神輿保存会小頭／家族は妻と2女／自宅は堀内2253-4／長柄事務所は長柄799
Tel.875-1073 eメール s.kondo@cyber.ocn.ne.jp

ごあいさつ

政府は、大企業や大金持ちには減税をしながら、国民には、負担増や福祉の切り捨てなど、際限ない痛みを押しつけています。こんなときだから「住民の福祉の増進を図る」地方自治体本来の役割を發揮すべきです。ところが守屋町政は、国の「出先機関」のように「行革」の名で住民サービスの切り下げや住民負担増を行い、これに「なんでも賛成」の立場であと押し、支えているのが、保守系与党会派と公明党です。いまほど悪政の暴走に正面から立ちむかう「たしかな野党」が求められているときはありません。私は「住民こそ主人公」の立場をつらぬいて全力をつくす決意です。



2007年4月号外

発行 日本共産党三浦半島地区委員会
葉山事務所 ぐらしの相談室
住所 葉山町堀内631-6
電話 046-875-9619 Fax 046-876-1567
eメール info@jcp-hayama.jp

●日本共産党の見解を紹介します。



近藤昇一さんの活躍に期待します

- 荒井 真幸 会社員・長柄
- 小笠原嘉一 神奈川土建鎌倉逗子葉山支部執行委員長
- 河村 輝夫 飲食店経営・長柄
- 木内 栄子 主婦・堀内
- 佐野 保男 会社員・一色
- 高梨 トメ 元葉山・長柄小教師・叔母
- 高橋いづみ 主婦・堀内
- 富塚 昇 横須賀民主商工会会長・同級生
- 角田 正 会社員・同級生・一色
- 根岸 京一 会社員・同級生・長柄
- 根岸 成枝 会社員・長柄
- 根岸 義道 弁護士
- 長谷川幸生 中央大学名誉教授
- 平野 恵造 葉山クリニック所長
- 本場 錬治 消費税をなくす葉山の会・堀内
- 矢島 剛 会社員・堀内
- 山川みづほ 主婦・堀内
- 渡辺正五郎 元高等学校非常勤講師・堀内
- 志位 和夫 党委員長・衆議院議員
- 小池 晃 党政策委員長・参議院議員
- はたの君枝 前参議院議員
- 谷川 智行 小児科医師・参院比例予定候補

憲法九条改悪に反対します



小林啓二

神奈川土建鎌倉逗子葉山支部
副執行委員長（一色）

近藤議員は、地域経済の活性化と地元中小業者の要求を実現するために、議会で積極的に提案していただいています。また、業者の営業を守るためにさまざまな相談にも乗っていただいて、昨年は孫請け代金不払いを解決するために尽力していただきました。業者を取り巻く環境はますます厳しいものになっていきます。われわれの味方としてこれからも頑張ってください。

天野清司

全日本年金者組合
逗子・葉山支部書記長（一色）



25歳で葉山の町議会議員となった近藤議員が八期目に挑戦します。心から応援します。実績に裏付けられた知識と判断力は、他会派の議員ばかりか町の職員からも信頼を集めていると聞いています。青年・壮年から熟年へ、いよいよ期待を寄せられる街の政治家として力を発揮する時です。

主な活動地域 長柄（葉桜、イトーピアを除く） 堀内（東伏見台を除く）、一色（一部）

あなたのご意見やご相談をおよせ下さい TEL 875-9619 FAX 876-3235

28年間、毎議会一度も休まず 一般質問を行ない、 取り上げた要求は **378項目**



私は、みなさんに支えられ、町議会議員として7期28年、頑張ってきました。私の大事な約束・公約の一つは毎議会、町民の声を町政に届ける活動でした。定例の議会ごとの一般質問は、一度も休むことなく続け、福祉・教育・道路や開発の問題を取り上げ、その数は378項目にのぼります。

また、平成5年には、他会派の協力も得て、町議会での議員提案による修正案を提出し、2名を活用して35件を提案。また、無所属議員との共同提案も行ない、町長に対し、様々な政策の提案を行ってきました。但し、残念なことは、「野党の提案」という理由だけで、保守系与党議員が賛成せず、条例案などの制定には至らないこともありました。

出し、当時の保守系ベテラン町議から「よく勉強しているな」と声をかけられました。その後、日本共産党が複数議席を得てからは、議員提案権(葉山町議会の場合)

審議会等の公開などにつなげてきました。私は、「町民の声を町政に届けます」の初心を忘れず、これからも粘り強く頑張る決意です。

誰にでも、できそうで、できないこと

佐野保男 (一色)

若々しい近藤さんが町議となって以来、休むことなく一般質問を続けていることは、簡単なように見えて、誰にでもマネができるものではありません。議員もベテランとなると質問もしなくなる、議長など役職にこだわると聞いていますが、近藤さんは、初心を忘れず、本当に信念の強い人です。

近藤昇一のあゆみ

葉山の みどりや海で育つ



ふとん屋の長男として葉山で育つ。葉山小、中学校から県立追浜高等学校へ。高校時代にはバレー部のレギュ

卒業後、家事を手伝いながら、故郷の緑が削られていくのを黙っていられず25歳で立候補、最年少で当選。地域の「サークル四季」を通じて、同級生の光子さんと結婚。二人の娘さんに恵まれ、共働きで子育てを続け、PTA活動、役場バレー部に所属したり、長柄小バドミントンクラブに所属して町民大会にも参加するファイトマン。



頭に立って神輿を担ぐ根っからの庶民派です。



気さくな人柄で 相談を解決

昨年の町民大会では、パトナーに助けられ、成人2部ダブルスで春秋ともに優勝。祭り好きは有名で先

朝から駆けずり回り、住民の相談のり、要求実現の先頭で頑張り、議会では町長と堂々とわたりあい、多数を占める与党派のなれあい政治を許さず、初当選の原点を忘れず「町民こそ主人公」の立場を貫いてきました。高齢化や少子化、厳しい経済の状況が続いています。いまこそ「くらしにやさしい町政を」という熱い思いを胸に今日も葉山を走っています。

葉山への 思いは人一倍

ラーとして活躍。家業を手伝いながら、中央大学に進学、学生自治会や平和委員会などで活動し、原水爆禁止世界大会などに参加、自分の生き方や戦争と平和について真剣に考え、日本共産党が戦前戦後一貫して戦争に反対した唯一の政党であることを知り、23歳で入党。



みなさんと
力をあわせ



積極的な提言で
町長の動かし
町民の願いを
実現できました。

日本共産党は、8年前の選挙で一人から複数議席になり、議案提案権と議会内での交渉権を得て、条例案や意見書案を提案したり、定例会では必ず一般質問に立ち、積極的提案で議会をリードしてきました。

近藤昇一議員は、無所属議員からの信頼も厚く、その力で共同提案にも取り組むなど、その活動ぶりは、保守系与党派も無視できない存在となっています。

日本共産党は、引き続き二議席を確保し、町民のみなさんの願いと切実な要求の実現をめざし、全力で頑張ります。

(裏面へ)

くらしにやさしい町政を

ひきつづき、みなさんと一緒にすすめます

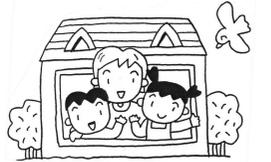
福祉・教育・くらしの 充実をすすめます

- 小児医療費助成制度を拡充し、小学校6年生まで段階的に無料化をはかります。
- 低所得者に対する介護保険料・利用料の減免、高齢者・障害者医療費の負担軽減をはかります。
- 中学校給食の実施。通学補助の充実をすすめます。
- 少人数学級の実現と学校トイレ改修、校舎の耐震化をすすめます。
- 地域総合スポーツクラブの設立と町民体育館建設を求めます。
- 福祉の拠点整備を進めます。



町民参加で まちづくりをすすめます

- 自治基本条例（住民参加・住民投票など）を制定させます。
- 交通計画を策定し、交通不便地の対策、高齢者のバスカード購入助成などを実施させます。
- 地元業者への発注率を高め、リフォーム助成事業等の施策をすすめ、地元業者の振興を推進します。
- 三浦半島中央道開通に伴う交通渋滞解消のため、逗葉新道の無料化を推進します。
- 旧逗葉新道へのバス停の早期設置を要求します。



みどりと住環境の 保全をすすめます

- 景観計画と景観条例を制定させます。
- 地球温暖化防止のため、し尿処理の「焼却方式」を改めさせます。
- ごみ処理は、分別・収集による資源化・減量化を推進し、自区内処理を原則に町独自の処理方法を検討させます。
- 旧大蔵省保養所跡地の確保と一色地区計画を推進します。

情報公開をすすめ ムダ使いは許しません

- 町民の目線で行政をチェックし、開かれた明るい町政をすすめます。
- 透明・公平・公正な入札制度に改善させます。
- 公共下水道事業を抜本的に見直し、事業費の大幅縮減で健全な財政運営を実現します。

住民税の大幅増税、医療・年金改悪
お年寄りいじめの大幅増税は許せません

福祉と教育の充実



新一年生の30人学級の実現

行き届いた教育をめざし、少人数学級の実施を強く要求し、18年度から1年生の30人以下学級が実現しました。引き続き、小学校の低学年と中学校での実施も要求しています。



葉山小防火シャッターに安全装置の予算化

学校の防火シャッターの安全装置設置を要求。葉山小で工事費が予算化されました。

通学定期補助制度を実現 保護者の負担を軽減

木古庭、上山口地域などの方々からの強い要望で、近藤議員が長い間議会でも取り上げてきた中学生の通学定期補助制度がつくられ、葉山中と南郷中にバス通学する生徒の初乗り区間を除いた全額（定期代）が補助されました。



長柄小学校の

Jフォンのアンテナを撤去

保護者から強い要求のあったアンテナ撤去を議会で決議等を提出して要求。平成17年に撤去させることができました。

学校等の公共施設のアスベスト対策の実施

学校などのアスベスト対策工事を議会でも要求、学校関係は19年度で工事が完了。

子育て支援センターの整備へ

子育て支援センターが旧保育園の建物で開設されることになり、耐震補強工事の実設計費が予算化されました。早期整備を求めていきます。

小児医療費助成制度 7歳未満まで対象拡大

共産党は3度にかけて小児医療費無料化の対象年齢の拡大を求める条例案を議員提案。その結果、16年度に「7歳未満」に拡大することができました。



旧大蔵省保養所跡地 一部を公園用地として買取へ

平成15年に一色町内会連合会から旧大蔵省跡地の取得を求める陳情が提出され、共産党は採択を主張。しかし、公明党や保守系党派によつて否決。その後も粘り強く議会でも跡地の取得を主張。住民による地区計画策定の運動とあいまって、18年第1回定例会で、近藤議員の質問に町長は公園用地として3分の1を保全すると約束。

下水道トンネル一本50億見直しへ

平成10年供用開始された公共下水道は、半分の面整備が完了し、当初予定の総工事費440億円がすでに300億円を超え、予定を大幅に上回る見通しです。共産党は当初から4本のトンネル（一本50億円）を2本に減らすことを主張。町当局は16年度に1本を減らし、3本にすることを決定しました。共産党はさらにトンネルを1本減らすように要求しています。

各種審議会等の公開指針を策定

開かれた町政をめざし審議会等の公開を求める「公開条例」を議員提案。しかし保守系党派によつて否決。18年に町は「公開指針」を策定、公開に踏み切りました。

積極的提案で

町民の願い

実現に全力

まちづくりを進める景観計画策定

国の緑三法を活用したまちづくりを要求。町は平成17年に法に基づく「景観行政団体」として名乗りを上げ、景観計画・景観条例策定に向けて動き出しました。



耐震補強工事の補助制度新設

耐震診断と補強工事の助成制度創設を議会で求め続け、15年度に実現できました。

斜面地の地下室マンション 規制する条例を制定

地下室型の斜面地マンション対策の必要性を議会でも指摘。住民の強い運動と力を合わせ、規制強化を町長へ要求し、18年7月に斜面地マンション対策の「条例」を制定。このことで、計画されていたマンション建設を断念させることができました。

まちづくり町民会議の創設

近藤議員は、16年12月の議会で鎌倉市の市民会議を例に、町政への町民参加を保障するよう強く要求し、17年度に予算化され、すべて公募による「まちづくり町民会議」が創設され、70人の町民が参加しました。

いつでもどこでも「住民が主人公」の立場で

くらし・介護・子育て応援する町政をめざします